

# グッとくる山陰

【特集】  
～最後の将軍・徳川慶喜の兄～

幕末の鳥取藩主

# 池田慶徳

2018 Spring 春

ご自由にお持ち帰りください



【山陰の逸品】

## 歴史が磨いた因幡の恵沢

【グッとくるコラム】

とうふちくわの穴

植田 英樹（山陰いいもの探果隊 隊員）

新作民藝の聖地 鳥取

木谷 清人（山陰いいもの探果隊 隊員）

【表紙写真】

国史跡鳥取城跡に建つ仁風閣

鳥取城跡は公園として整備され「日本さくら名所100選」に選ばれる名所。城跡に建つ白亜の「仁風閣」は明治40年、当時の皇太子殿下（後の大正天皇）鳥取啓啓の際、宿泊場所として建てられた洋風木造建築。また、石垣と洋館の美しいコントラストが映える景観は、「日本随一」との呼び声が高まっています。鳥取県鳥取市東町2-121  
アクセス：JR鳥取駅から路線バス「西町」下車徒歩約5分  
お問い合わせ：0857-26-3595

## とうふちくわの穴



「一体それは何なのだ!?」という時がごくたまにある。「何なのだ?」ではなく「何なのだ!?」と感嘆符がつく、どうにもモヤモヤした気分が残る時である。早く答えを!と脳がせつせつしているのである。とうふちくわは間違いない「それだ」。とうふとちくわが関連していることは容易に推測できる。しかしとうふは四角く柔らかく、ちくわは円柱で弾力がある、原材料は大豆と魚、作り方も含めて共通項が見当たらず。水と油だが「とうふちくわ」と名物になっていく、これは如何に。

7:3の割合で混ぜると、見事なすり身に進化。竹に巻き付けて蒸しあげると「カタチはちくわ、食べるとふっくら、噛むとほかに大豆の味と香り」という、とうふちくわだけの絶妙な味わいと相成った。以来200年以上にわたる鳥取の人々に愛され続け、今やカレー味やショウガとネギを練り込んだ「冷奴とうふちくわ」も出現、もはやとうふを超えた!?



山陰いいもの探果隊 隊員  
植田 英樹（うえた ひでき）

昭和44年鳥取市生まれ。法政大学法学部卒業。宝島社、現在は鳥取市観光プロデューサーとして食文化を中心に鳥取を盛り上げる。鳥取情報文化研究所 所長。

江戸時代の鳥取は三十二万石の大藩で、城下周辺には陶窯が点在し、城下町には木工、漆工、金工など多くの職人が住んでいました。明治時代になり文明開化と共にそれらの仕事は次第に廃れてゆきましたが、昭和の初めごろまではまだその名残があったようです。昭和六年、柳宗悦が唱えた「民藝の美」を日常の生活に取り入れるため、医師だった吉田璋也（よしだ ちやう）も明治三十一年（昭和四十七年）は鳥取で暮らしの工芸品を作る新作家運動を起しました。

かつての城下町に「かろうじて残っていた職人の技と、中国山地の木材や地元陶土や漆などの天然資源に支えられて、鳥取の民藝は吉田璋也の指導により目覚ましい発展を遂げ、銀座に「たくみ工芸店」を出店するに至ります。昭和の初期に最も早く最も多様な新作民藝が育った鳥取はその聖地として、今日なお民藝の伝統を受け継ぎながら、新たな伝統を創り続けているのです。



山陰いいもの探果隊 隊員  
木谷 清人（きたに きよひと）

鳥取市生まれ。昭和50年早稲田大学理工学部建築学科卒業。民藝や建築設計・まちづくり・建築の歴史的調査等にかかわる。公益財団法人鳥取民藝美術館 常務理事  
（写真：左より、鳥取民藝美術館・たくみ工芸店・たくみ朝売店）

## 新作民藝の聖地 鳥取



鳥取民藝コーナー

2018年7月1日  
山陰本線（鳥取～出雲市間）運行開始!



あめつち  
～天地の初発のとき～



外観イメージ

グッとくる山陰 春号

発行元/JR西日本米子支社 鳥取県米子市弥生町2  
☎0859-32-0255 \*記載の情報は、2018年3月1日時点のものです。



実はとっても奥深い!魅惑の「山陰」探果記

山陰いいもの 検索 右記コードからサイトへGO! →



# 池田慶徳



最後の将軍・徳川慶喜の兄

## 幕末の鳥取藩主 池田慶徳

平成30年の今年は、

明治元年(1868年)から数えて満150年の年。

近代国民国家への第一歩を踏み出した明治という時代を回顧して、全国各地で記念行事が開催・計画されています。

こうした中、去る1月、

幕末の鳥取藩に関わる重要な発見がメディアを賑わしました。

それは、動乱を極める時勢にあって、

新政府と旧幕府のどちら側につくのか――

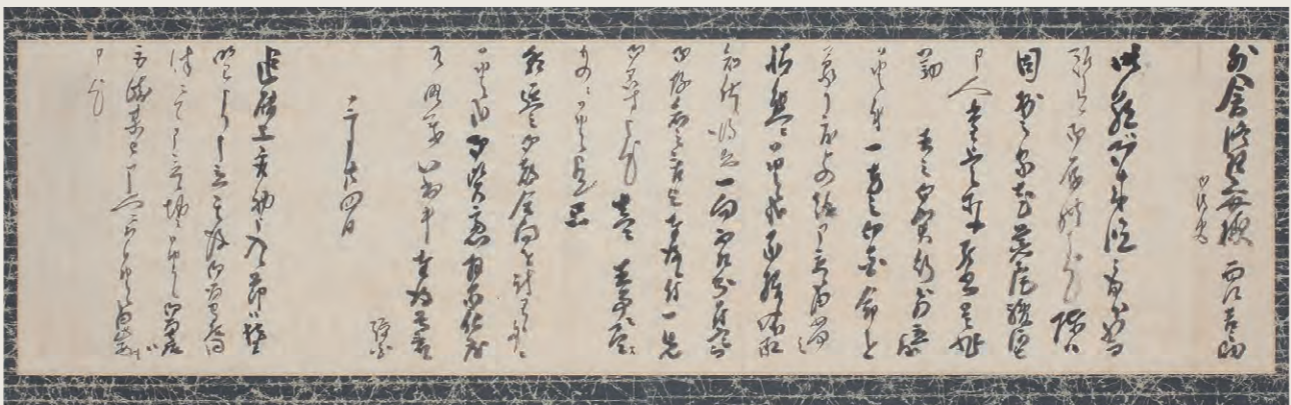
鳥取藩の立場を探る内容が書かれた、西郷隆盛の自筆の書状。

その渦中にいたのは、鳥取藩最後の藩主、池田慶徳そのひとでした。



池田博愛用の文箱 他  
(鳥取市歴史博物館 所蔵)

五郎麻呂(池田慶徳/右)と  
七郎麻呂(徳川慶喜/左)の肖像画  
(北海道釧路市 鳥取神社所蔵/画像提供:鳥取市歴史博物館)



西郷吉之助(隆盛)直筆の書状(鳥取市歴史博物館 所蔵)



西郷隆盛  
国立国会図書館蔵

幕末・維新派の政治家で軍人。西郷を引き立て世に送り出した第11代薩摩藩主・島津斉彬(しまづなりあきら)の母は、第6代鳥取藩主・池田治道(はるみち)の娘でした。

### 歴史の表舞台から 去った兄がいた 歴史の表舞台に 立たされた弟がいた

五郎麻呂君はお公家さんのようであり美男で品も良いが、少し柔和すぎて養子向きの方である。七郎麻呂君はあっぱれ名将の気質もあるも、悪く育ってしまうと手に余るであろうが、将来は頼もしく思われる。――これは、幼少期の兄弟を知る儒学者が、それぞれの個性を言い当てたような一文。

五郎麻呂とは池田慶徳の、七郎麻呂とは徳川慶喜の幼名で、ふたりは、徳川御三家のひとつ水戸藩の第9代藩主・徳川斉昭の息子。側室の母をもつ慶徳と、正室の母をもつ慶喜は、同じ年の異母兄弟です。弟・慶喜は、江戸幕府第15代将軍として大政奉還を行った最後の将軍としてあまりに有名。かたや、兄・慶徳については、あまり語られてきませんでした。それは残念ながら、地元鳥取でも同様。

ここでは、明治150年の今年、西郷自筆の書状をメッセージと受け取り、鳥取藩最後のお殿様、池田慶徳に近づこうと思います。

鳥取藩は、徳川家康を曾祖父にもつ池田光仲を藩祖として、外様大名でありながら葵の御紋の使用を許されるなど、親藩と同等の資格を与えられ、江戸300藩といわれた当時、上位12番目の32万石を誇る大藩でした。

しかし、第7代から第11代まで立て続けに若き藩主を失ってしまった鳥取藩は、幕府に世継ぎの決定を依頼します。こうして、鳥取池田家の養子となって家督を相続することになったのが慶徳14歳のとき。嘉永3年(1850)、第12代藩主、池田慶徳が誕生したのです。

慶徳は、16歳で初めて鳥取の領内に入りました。幼い頃から、父・斉昭が創設した日本最大の藩校「弘道館」で学び、文武両道の英才教育を受けてきた若き藩主は、苦しい財政状況に陥っていた鳥取藩を盛り返すべく、藩政改革を断行する決意をしての国入りでした。

# 徳川慶喜



にのまるさんがいやぐら きぼし ぼし  
鳥取城の象徴であった二ノ丸三階櫓と擬宝珠橋(明治12年頃撮影)

鳥取城は、幕府の築城規制が敷かれた元和元年(1615)以降に32万石の居城として整備されたため、それ以前に整備された松江城や米子城のような高層天守はありませんでした。しかし、擬宝珠橋は外様大名の居城で最長の36mの長さを誇り、32万石の居城にふさわしいものでした。

鳥取市歴史博物館所蔵

〈大手登城路復元整備完成イメージ図〉

鳥取市教育委員会提供



池田慶徳近影(明治初年撮影)

鳥取市歴史博物館所蔵



©林原美術館

実父・徳川斉昭から贈られたという農婦人形

蓑(みの)を着て、鎌を肩に担ぎ、裏返した菅笠(すげがさ)を手に持つ農夫の横には稲束が。農民への感謝を忘れないようにと父・斉昭から贈られたと言われています。



とうしょうぐら おうちだにじんじや  
鳥取東照宮(樽谿神社)

鳥取市教育委員会提供

初代鳥取藩主の池田光仲が日光東照宮の分霊として建立した国の重要文化財です。祭神は、主神として東照大権現を祀り、配神(はいしん)として池田忠継・忠雄・光仲・慶徳を合祀(ごうし)しています。明治7年から平成23年までは樽谿神社と称されていたが、元々の名称復活を望む声もあり、「鳥取東照宮」と名称変更されました。

鳥取県鳥取市上町87  
アクセス:JR鳥取駅から路線バス「県庁日赤前」下車徒歩約15分  
お問い合わせ:0857-22-3318(鳥取市観光案内所)

## 藩政改革に燃えて—— 若きお殿様の誕生

水戸からやって来たお殿様の日常は、驚くほど質素でした。元來、実家の水戸家は質素儉約が本分で、食事は一汁一菜が基本。父・斉昭を尊敬し、常に農民の労に感謝するその姿をみならい、食事の際には必ず、同じように農婦人形を傍らに置き、自身より先にご飯を供えたといわれています。

家臣に対しては「農民が喜ぶような政治をせよ。領民が富むようにせよ」と指導し、農民の負担を軽減する改革にも力を入れました。

教育については、藩校「尚徳館」の拡張に着手しています。それまで特権階層にしか開かれていなかった扉を、身分に関係なく侍の子弟にも開き、学ぶことを奨励しました。より高度な教育を行った私塾からは、尊皇攘夷運動で活躍する幕末の志士も育っています。さらに、藩士たちから自由に政治上の意見を募るために上書箱(目安箱)を設けたことは画期的でした。意見に対し慶徳自身が朱筆を入れた封書が一九〇通以上現存しています。

慶徳が鳥取に入ってからわずか1年後の嘉永6年(1853)、それは起こりました。アメリカ海軍代将ペリー率いる黒船が浦賀に来航し、鎖国を続けていた日本に開国を迫ったのです。こうして時代は、一気に激動の幕末へと突入していきました。

## 激動の幕末へ—— 大藩の藩主の采配

慶徳は、天皇の權威の絶対化と開国反対を主張する強硬な「尊皇攘夷」の旗手だった父の思想に心酔していました。けれど、過激な尊皇運動は好まず、やがて、天皇と幕府の関係を強化して政治の安定を図ろうとする「公武合体」路線に傾いていったようです。

こうした中道的な立場に立っていた慶徳は、「尊攘派抑圧に加担している」との汚名をさせられています。すると、「慶徳公をこそそのかしたの側近たち」と激高した藩内の尊攘過激派22人が、文久3年(1863)、側近たちの宿所である京都の本圀寺を襲撃。3人を斬殺、1人を自害に追い込んだ「本圀寺事件」を起こしてしまうのです。この件で、慶徳が謀反者たちに処した罰は、郷里の田舎に帰して幽閉するというもの。謀反者は死罪になるのが当然だった時代なのです。

翌年とその2年後には、倒幕勢力の拠点であった長州を幕府が攻撃する「長州征討」に、慶徳は幕府軍として参加。1度は幕府軍が勝利したものの2度目で敗れてしまっています。当時、弟・慶喜は、幕府の将軍後見職。そこには、兄弟の親密さがうかがえます。

慶応2年(1866)12月5日、弟・慶喜本人が拒み続けていたにもかかわらず、江戸幕府第15代将軍・徳川慶喜が誕生。慶徳の立場は、ますます難しいものになっていきました。

## 明治の幕開き—— 表舞台を降りた藩主

慶応4年、将軍・慶喜は、政権を朝廷に返上する大政奉還を実行して政権を放棄。幕府軍の勝海舟と、新政府軍の西郷隆盛の話し合いにより、新政府への江戸城引渡しが決められました。世に言う「江戸の無血開城」です。この平和的な解決こそ、慶徳が望んだところであるといわれ、もしかしたら弟・慶喜に対して大政奉還を進言したのかもしれない。

こうして、明治がはじまり、新政府の職に多くの諸藩主が任ぜられますが、そこに慶徳の名前はなく、鳥取藩最後の藩主は、静かに歴史の表舞台から去りました。

明治10年(1877)、慶徳は、明治天皇の遷幸を神戸までお見送りする際、肺炎になり京都で逝去。41歳の若さでした。現在は、鳥取東照宮の別当寺・大雲院で安らかな眠りについています。遠く水戸から鳥取に来て、若くして藩主となり、その勤勉さと寛大さで藩をまとめた慶徳。その胸にいつもあった願いは領民の幸せだったのかもかもしれません。

現在、鳥取城跡内では、城跡が近代公園として開設した100周年にあたる2023年に向けて大手登城路の復元整備が進んでいます。堀にかかる擬宝珠橋は、慶徳が新たな時代の幕開けの明治元年に架け替えたものであり、今秋、150年の時を経て、よみがえる計画です。

鳥取藩最後のお殿様・池田慶徳をフィルターにして見る旧城下町鳥取は、今までとは違う輝きを放ち出しています。

# 幻蘇る 真正銘 鳥取の地酒



中川酒造は創業文政11年で鳥取県東部では最も歴史ある老舗酒蔵。真の地酒とはその土地にしかない米と水で作られたものであるという思いから、一度は途絶えた鳥取県固有の幻の酒造好適米「強力」を復活させました。「いなば鶴純米大吟醸強力」はその「強力」を40%まで徹底して精米し発酵、あえて炭素濃過を行わず、そのまま瓶に詰めました。口に含んだ瞬間、お米の匂いがふわっと広がり、その後、強力という名にふさわしい、甘みを持った力強いコクが、一気に伝わりまします。この個性の味は一度飲んだら病みつきです。真正銘の鳥取の地酒を是非堪能ください。



いなば鶴 純米大吟醸 強力 (720ml) 3,240円

- [取扱店]  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○倉吉駅のデリーイン  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

中川酒造株式会社  
鳥取県鳥取市立川町2-305  
☎0857-24-9330  
https://gohriki.com



これぞ鳥取の地酒です！



## 美味しさの鍵は こだわりの卵

一口食べれば卵の美味しさに驚きます。全国に数多くのファンを持つ「大江ノ郷バウムクーヘン」は、中国山地の大自然の中で平飼いされたにわとりの産む「天美卵」を使用。卵のコクと旨みをしっかりと感じていただけるよう、卵黄の比率を増やしています。また、生クリームやバターは鳥取県産を使用するなど、原料は全てこだわりの卵に抜いています。直火式の釜で、約20層になるまで一層一層丁寧に焼き上げた極上のバウムクーヘンを是非お楽しみください。



バウムクーヘンです！

大江ノ郷バウムクーヘン  
1個(直径約14cm×厚さ約4cm) 1,296円

- [取扱店]  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

大江ノ郷自然牧場  
鳥取県八頭郡八頭町橋本877  
☎0858-73-8211  
http://www.oenosato.com



# 歴史が磨いた因幡の恵沢



甘さひかえめ  
砂丘らっきょうピクルス(内容量130g:固形量80g/瓶入) 648円

- [取扱店]  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

株式会社 シセイ堂デザイン  
鳥取県鳥取市吉方温泉3-802  
☎0857-22-1122 https://swance.jp



らっきょうが苦手な方でも食べやすいと好評です！



元気なミツバチと自然の恵みに感謝！

福田養蜂場は鳥取砂丘や東中国山地の豊かな自然環境の中、健康な蜂の育成と蜜源である花づくりを大事に、昭和初期から現在に至るまで高品質な蜂蜜を作り続けています。「百花」のネーミングは、ミツバチ達が沢山の種類の花から花蜜を運んでくることに由来。ミツバチ達が一生懸命集めてくれた純粋な蜂蜜は、その時々々の花の香りが楽しめます。二つと同一商品はありませぬ。一期一会の風味を是非ご賞味ください。

百花はちみつ(90g/瓶入) 540円

- [取扱店]  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○倉吉駅のデリーイン  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

福田養蜂場  
鳥取県鳥取市国府町法花寺60  
☎0857-24-8528  
http://fukuta-honey.com



## メイドイン鳥取の ピュアな甘み

## 大地の恵みが育てた 白ねぎドレッシング

有機肥料や米ぬか、おからのほかし肥料など徹底的に土づくりにこだわった農業を行う田中農場。たくて瑞々しく、甘くて柔らかい一級品の白ねぎを栽培して収穫。一番おいしい冬の時期に収穫した新鮮な白ねぎをたっぷり贅沢に使ったドレッシング「ネギネージュ」は、田中農場オリジナルの白ねぎ酢をベースに、酸味のなかに白ねぎの甘さがしっかりと感じられる味に仕上げました。生野菜はもちろん、カルパッチョや鶏肉料理などのお料理にも相性抜群、いつもの料理をワンランク上のご馳走に引き立ててくれます。



シンプルなお料理と相性抜群です！

ネギネージュ(150ml) 842円

- [取扱店]  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○倉吉駅のデリーイン  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

有限会社田中農場  
鳥取県八頭郡八頭町下坂442  
☎0858-72-2826  
http://www.farm-tanaka.jp



左記マークのついた商品につきましてはJR駅構内の店舗などで取り扱っております。\*掲載商品の金額はすべて税込表示です。



因久山焼 ぐい呑み  
1個(口径約55mm) 1,620円  
※すべて手づくりなので、数に限りがございます

- [取扱店]  
○鳥取駅のおみやげ楽市  
○米子駅のおみやげ楽市  
○松江駅のおみやげ楽市

因久山焼窯元  
鳥取県八頭郡久能寺649  
☎0858-72-0278 http://inkyuzan.ftw.jp/

## 歴史を受け継ぐ 伝統の技と美

因久山焼は、江戸時代中期に京焼の陶工が御室焼の技法を伝えたのが始まりで、代々藩主から御用窯として保護されてきました。その後信楽焼の技法も伝えられ、京焼と信楽焼の技法が混ざり合い、風雅さと土味のある独特の作風が形成されました。江戸時代から続く登り窯は健在で、格調高い茶道具や花瓶、マグカップなど幅広い作品を作り続けています。「わら灰釉ぐい呑み」は、薄づくりで手のりを長くし、釉薬のクリム色と手ざわりにこだわりました。いつものお酒をグッと味わい深く演出してくれます。



昔から作り方を一切変えていません！